

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	開設時より、玄関口、各フロアの出入口、勝手口に自動ロックが設けられており、入居者のみでの外出が出来ない状況となっている。誤って外に出て事故とならない様に、との設備ではあるが、空間的拘束に繋がる可能性がある。	入居者一人一人に対する見守りや状況把握を確実に行うと共に、出来るだけ施錠しないで対応出来る環境作りを図っていく。	身体拘束廃止委員会を中心に、施設スタッフ全体で『閉ざされた空間』とならない様な、施錠しない時間帯を設けたり、外出頻度を増やす様な、環境作りや対応を推し進めていく。万が一、外に出て帰れなくなってしまった場合も想定し、地域との繋がりを構築していく。	6～12ヶ月
2	26	入居者の方に生活して頂くにあたり、個々にケアプランを作成しているが、入居者やその御家族の全てのニーズを抽出し、反映し切るには至っていない面がある。	入居者・御家族個々の思いを反映し、個人に合った、個別性のあるケアプランの作成に努めていく。	カンファレンス等を行うにあたり、御家族の都合が許すのであれば、御家族のカンファレンスへの参加を検討していく。参加が可能であれば、直に要望や希望を抽出し、ケアプランに繁栄出来る様に努めていく。	6～12ヶ月
3	33	入居にあたり、基本的に『終身』という体制ではあるが、設立3年を過ぎ、今後は現入居者の重度化や看取りに対するニーズが高まる可能性があり、スタッフ全体のスキルアップが求められる。	医療機関との連携はあるが、医療面に関わらず、スタッフ全員が対象となる入居者の方々への援助方法を熟知し、レベルアップを図っていく。	法人との連携も含め、研修への参加やマニュアル整備等を重ね、重度化や看取りといったケースが発生した場合に入居者と御家族双方に対して、多方面からフォローが可能となる様な環境を構築出来る様に努めていく。	6～12ヶ月
4					
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。